

2026 年 9 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)
問合せ先 取締役統括本部長 橘 義 規
TEL 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
FIDIC Project Awards 2026
ナザブ空港改修事業・インド貨物専用鉄道事業・ナカラ港開発事業 3 件同時受賞

2026 年 9 月 15 日、インド国デリーで開催された FIDIC2026 大会において FIDIC Project Awards 2026 の表彰式が行われ、当社グループの主要な事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二）が携わった「インド貨物専用鉄道事業」が Megaproject 部門最優秀賞を、「パプアニューギニア国 ナザブ（レイ）空港改修事業」が Medium to large project 部門最優秀賞を、「モザンビーク共和国 ナカラ港開発事業」が Medium to large project 部門優秀賞を受賞しました。

FIDIC Project Awards は、世界各国の経済発展や地域社会の生活水準の向上に寄与したプロジェクトを表彰するものです。

【関連リンク】 [FIDIC names finalists for Project Awards 2026](#)



表彰式にて

中央：Catherine Karakatsanis 前 FIDIC 会長

左：同社 代表取締役社長 米澤栄二

右：同社執行役員インド現地法人会長 阿部玲子

【インド貨物専用鉄道事業】

同国本島は急峻な山岳地帯のため首都との間に陸路がなく、安全・迅速な航空輸送が不可欠となっています。一方、同空港は設備の老朽化が進み、手荷物処理や保安検査を人力に頼っていたためピーク時に混乱が生じていたほか、滑走路や航空灯火も更新時期を迎えていました。こうした課題に対し、ODA 有償資金協力により、国際線就航を見据えた既設滑走路・誘導路・駐機場の拡張、航空灯火の機能向上、新旅客ターミナルビルおよび駐車場の新設などを実施しました。同社は共同企業体の幹事として、詳細設計、入札支援、施工監理等のコンサルタント業務を実施しました。本事業により、増加する輸送需要に対応し、利便性と安全性の大幅な向上に貢献しました。



【パプアニューギニア国 ナザブ（レイ）空港改修事業】

同国本島は急峻な山岳地帯のため首都との間に陸路がなく、安全・迅速な航空輸送が不可欠となっています。一方、同空港は設備の老朽化が進み、手荷物処理や保安検査を人力に頼っていたためピーク時に混乱が生じていたほか、滑走路や航空灯火も更新時期を迎えていました。こうした課題に対し、ODA 有償資金協力により、国際線就航を見据えた既設滑走路・誘導路・駐機場の拡張、航空灯火の機能向上、新旅客ターミナルビルおよび駐車場の新設などを実施しました。同社は共同企業体の幹事として、詳細設計、入札支援、施工監理等のコンサルタント業務を実施しました。本事業により、増加する輸送需要に対応し、利便性と安全性の大幅な向上に貢献しました。



【モザンビーク共和国 ナカラ港開発事業】

ナカラ港開発事業は、日本の先進技術を活用し、コンテナターミナルの整備等を行い、地域の経済発展に寄与するための ODA 円借款事業です。同社は共同企業体幹事として詳細設計、入札支援、施工監理等のコンサルタント業務を実施しました。本事業により新たに整備されたコンテナターミナルは、モザンビーク国のみならず、内陸国ザンビア、マラウイを結ぶナカラ経済回廊の基幹港として、地域の経済発展に大きく寄与しました。また、沿線の炭鉱や農地、洋上天然ガス開発といった地域産業の振興を支える基盤を確立し、5 年間の事業期間中に 1,000 名以上の地域住民・スタッフを雇用し、地域の雇用創出にも貢献しました。



以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03 -6311-8020
URL: <https://ocglobal.jp/ja/>